

「八岐大蛇」

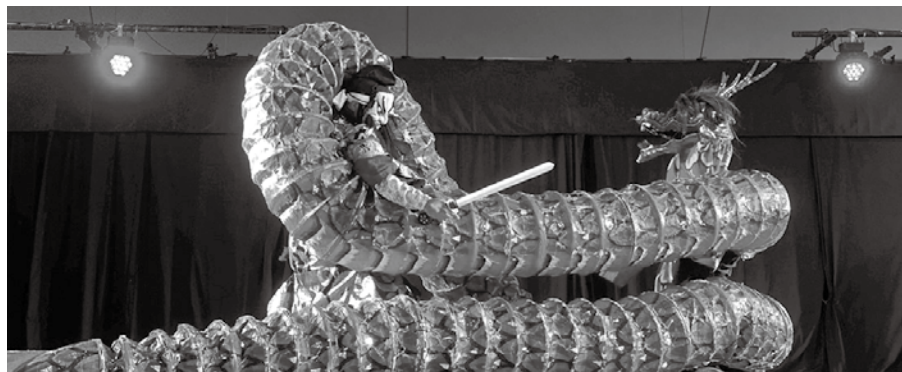


JAPAN 展」石見神楽公演

「八岐大蛇」を披露！石見神楽の持つ魅力を世界に届けました！



神楽幕授与式の様子



神和会会長と日根神社(泉佐野市)宮司 岡氏



公演後は会場全員で神輿に向かい、拝礼

万博公演までの道のり

令和6年

3月 益田市石見神楽神和会(以下、神和会) 定例会にて万博出演に関する協議、出演決定。

4月

出演：神和会 企画：一般社団法人 MASUDA カグラボ(以下、カグラボ)の体制で企画検討開始。
神和会、カグラボ、泉佐野市による企画内容に関するオンライン協議開始。

※以降、令和7年5月まで月2回の協議実施。

令和7年

1月

泉佐野市現地協議(泉佐野市まくら祭り関係者ほか)。

3月

大阪・関西万博出演に関する記者会見を実施。

4月

安芸高田市で開催された万博出演記念公演に種神楽社中が出演。

5月

「石見神楽の日」制定記念シンポジウム「大阪万博から55年目の石見神楽」を開催。

6月

神和会の合同練習開始。

7月

市内企業より万博出演記念「神楽幕」授与。

大阪・関西万博にて2日間の公演(30日、31日)。

8月

姉妹都市大阪府高槻市にて万博出演記念公演。

7月28日から31日にかけて大阪・関西万博の自治体参加催事として開催された「LOCAL JAPAN展」において、石見神楽公演を実施しました。

石見神楽は今から55年前の大阪万博での公演をきっかけにその後の発展に繋がったことから、今回の万博催事でも地域伝統芸能・日本遺産としての石見神楽の認知度向上と、国内外からの観光誘客を目的として参加しました。

LOCAL JAPAN展とは

東北から沖縄まで43自治体（地域）が、6テーマ14の共創コンテンツとして、展示ブースやステージを介して魅力を披露するイベントです。益田市は大阪府泉佐野市の伝統行事「まくら祭り」との共創によるステージを披露しました。

泉佐野市×まくら祭り

5mほどある竹竿に華やかな飾り枕を付けた枕幟を巡行する奇祭。村の若嫁や娘が安産や良縁を願って奉納した25個の飾り枕をくりくり付けた幟を御旅所まで渡御したのがはじまり。



まくら祭り（泉佐野市）



万博出演に関する記者会見

左：神和会会長 藤原氏

右：MASUDA カグラボ代表 神田氏

開運招福・舞を通じた鼓舞の力

遠く離れた2つの地域の伝統的な芸能・お祭りに共通する「開運招福」の願いを、石見神楽の勇壮な舞とまくら祭りの柔らかくも力強い祈りの共創により、新たな舞台芸術として披露するLOCAL JAPAN展だけの特別なステージを企画しました。

万博公演当日の様子

公演後は万雷の拍手で、「圧倒された」、「見たことはなかったが、言葉では言い表せられない」など賞賛の声が寄せられ、公演中は感動で涙を流す観客もおられました。

認知度の向上はもちろん、異文化や他の芸能とのコラボレーションに柔軟に対応できる石見神楽の多様性を広く周知するきっかけになりました。

2025年 大阪・関西万博「LOCAL

益田市石見神楽神和会の精鋭が大阪・関西万博で

高槻市での万博記念公演



賑わいを見せる益田市特産品コーナー



高槻公演「大江山」

姉妹都市 高槻市・万博記念公演

万博公演の翌日には、その勢いのまま姉妹都市である大阪府高槻市で万博出演記念公演を実施。800枚を超えるチケットを売上げ、「岩戸」「十羅」「大江山」「八岐大蛇」の4演目を上演しました。

最終演目後には席を立って拍手を送る来場者が多く見られました。（観客動員数：870名）



2025 大阪・関西万博「浙江ウィーク・寧波デー」



7月14日に大阪・関西万博の中国パビリオンにおいて開催された「浙江ウィーク・寧波デー」に、山本市長と福原前市議会議長が出席しました。

令和6年12月に山本市長を団長とする第17次益田市友好代表団が益田市の友好都市である中国・寧波市を訪問した際、湯飛帆（タン・フェイファン）寧波市長から、大阪・関西万博での寧波デーオープニングセレモニーへの招待が伝えられ、この度実現する運びとなりました。

中国パビリオンは「自然と共に生きるコミュニティの構築」グリーン発展の未来社会」をテーマとした中国の伝統的な書道の巻物を広げた形をモ



チーフにした壮麗な外観。中国の伝統文化と最先端のデジタル技術が融合した展示が多数あり、世代や国を超えて多くの人の心に響く内容でした。

オープニングセレモニーは寧波市と友好都市交流関係を結んでいる日本の市町の関係者が多数出席し、盛大に開催されました。

寧波市の葉苗（ヨウ・ビョウ）副市長をはじめ、中国パビリオンのスタッフの温かい歓迎に加え、伝統芸能の公演も行われ、非常に印象深いセレモニーとなりました。

令和8年4月に「雪舟の郷記念館」



のリニューアルオープンを予定していること、また同年10月には両市の友好交流議定書締結35周年を迎えることから、益田市にお越しいただき、両市の友好と記念館のリニューアルオープンをともに祝う計画をしています。

寧波市ってどんなまち？

〈寧波市（ねいは市・ニンポー市）〉

天然の良港を持つ寧波市は、古くは明州（めいしゅう）や慶元（けいげん）と呼ばれ、日中交流史にたびたび登場します。大海原を渡った遣唐使が上陸し、鑑真や阿倍仲麻呂が日本を目指して船出しました。元寇の際には大軍が出港し、また勘合貿易の拠点ともなり、ときには倭寇が侵入した港でもありました。

中国大陸部の沿岸線の中部に位置し、世界屈指の港湾都市として栄えています。

- ・総面積 9,816km² ・日本との時差 マイナス1時間
- ・戸籍登録人口 624.4万人（常駐人口977.7万人）※2024年末時点

